

2018年11月28日

ゲーム分析講習会（12/22、23） 参加申込書

フリガナ				年齢	歳
受講希望者 氏名					
連絡先	住所				
	電話番号		Email		
所属チーム				役職	
指導歴	期間	職務内容、戦績など			
資格	<input type="checkbox"/> 日本スポーツ協会公認上級コーチ <input type="checkbox"/> 日本スポーツ協会公認コーチ <input type="checkbox"/> 日本スポーツ協会公認上級指導員 <input type="checkbox"/> 日本スポーツ協会公認指導員				
Sportcode(Gamebreaker) の使用経験	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	使用年数	年		

	英語	その他(語)
語学力	<input type="checkbox"/> 日常生活での簡単なやりとりができる <input checked="" type="checkbox"/> 英語での講義を理解することができる <input type="checkbox"/> 英語を使って議論することができる	<input type="checkbox"/> 日常生活での簡単なやりとりができる <input type="checkbox"/> 英語での講義を理解することができる <input type="checkbox"/> 英語を使って議論することができる
資格・過去の受講履歴	<input checked="" type="checkbox"/> 日本スポーツ協会公認上級コーチ <input type="checkbox"/> JOCナショナルコーチアカデミー <input type="checkbox"/> JPSA障がい者スポーツコーチ <input checked="" type="checkbox"/> IF公認指導者ライセンス(名称: FIH Hockey Academy Level 4) <input type="checkbox"/> その他 ()	
応募動機	<p>大学在学中に初めて日本代表に選出され、1986年のメキシコ五輪以来のオリンピック出場を目指して、アトランタ、シドニー、アテネの各五輪予選に選手として挑戦しました。引退後はそれまで所属していた実業団チームのコーチを経て、2005年から男子ホッケー日本代表チームのコーチングスタッフとして北京、ロンドンの予選に挑みましたが、男子ホッケー界の悲願でもある五輪の出場権を獲得することは叶いませんでした。</p> <p>現役を引退し、すぐにコーチとしてのキャリアをスタートさせたため、当時は現役時代の経験に頼り、それまでに指導を仰いだコーチの方々のコーチング理論を見よう見真似でコピーし、自分自身のコーチング哲学がないまま、ただがむしやりに選手に対して指導は行っていたように思います。</p> <p>そんな状況の中、日本代表チームのコーチ在任中の2010年、インドで開催された国際ホッケー連盟が主催するコーチングコースに初めて参加する機会を得ました。そこで目にしたものはそれまでに私が選手やコーチとして経験したものとは全く異次元のものでした。当時は英語がまったく理解できませんでしたが、それでも講師の方々から聞く世界最先端のホッケー技術、戦術や指導方法、受講しているコーチたちの熱意や彼らのネットワーク、国際ホッケー連盟が掲げるビジョンなど、国内では経験できない非常に有意義なものであったと同時に「このままでは日本のホッケー界は、更に世界トップレベルから遅れをとってしまう」と危機感を覚えたことを記憶しています。</p> <p>その後、日本ホッケー協会が招聘したオランダ、韓国出身の経験豊富なトップコーチのアシスタントとして技術、戦術、フィジカル、ゲーム分析、選手のメンタルケアなど、彼から多くのことも学びながら、2017年、当時としては日本人として初めて国際ホッケー連盟の公認指導者ライセンスでもある「Hockey Academy Level 4」の資格を取得しました。その間、「コーチ自身が学ぶことをやめてはいけない」という信念のもと、常に自分自身のコーチとしてのレベルアップ、スキルアップを図ってまいりました。</p> <p>男子ホッケーは2020年の東京オリンピックこそ出場権を獲得しておりますが、持続的に競技力の向上を目指すには、トップチームの強化はもちろんのこと、協会としてのビジョンの策定や、国内全体の強化プログラム、強化体制の確立など、取り組まなければならない課題が山積しており、2010年に感じた以上の危機感を抱いています。</p> <p>今回、この事業においてスポーツ庁が掲げる2020年以降の長期的なビジョンや、ワールドクラスコーチに求められる役割などを目にし、ぜひこのプログラムを経験させて頂き、自分自身のコーチとしてのレベルアップはもちろん、日本ホッケー界全体の国際競技力向上の力になりたいと思い、応募を決意させて頂きました。</p>	

【課題】

あなたが指導するアスリートが持続的にオリンピック・パラリンピックでメダルを獲得し続けるために、
現在ナショナルチームが抱えている課題と解決策について記載してください(A4 2枚 (2,000字)程度)

※数字やデータ、図表を用いて、具体的に書いてください。

別紙